

親子聖書日課

NO.1888 2024.12/1-7

名前

[日]未来を知ることができれば、災いを回避できると思うでしょうが、未来が隠されていることは、恵みです。自分の命が明日までと知らされたら、生きることは辛いです。「何事にもふさわしい時がある」とは、主が一步一步を備えて下さるからです。

[月]力ある者が人生の勝利者になるとは限りません。ウサギに勝ったカメのように遅くても、わき目をふらず、主だけ見上げて歩むなら、人生の勝利者になります。主の力は弱い人にこそ働いて、救いを与えて下さいます。世に勝つ力は信仰！

[火]「遇者は口数が多い」とは、他人事ではありません。神に対して空しい言葉を繰り返す人は、神の言葉を聴きません。人に対して弁解や自慢を繰り返す人は、対話を閉ざします。口数を少なくして、聴きましょう。豊かな交わりが生まれます。

[水]私達は沢山のチランを配りますが、教会に来る人は少ないですね。それは「パンを水に浮かべて流す」ようで、全くむだに見えるかもしれません。しかし、いつの日か救霊の実を結ぶ時がきます。この御言葉を信じて伝道の業に励みましょう。

[木]「神を畏れ、その戒めを守れ」これこそ、人間の本分であり、神に造られた目的です。若い時に主を信じる事ができたら、幸いです。「青春の日々にこそ」とは、心が柔らかく、活力に満ちて、生涯奉仕できます。子供を主の下に導きましょう。

[金]男女の愛を歌ったラブソングが雅歌です。この歌が聖書に入ったのは、神と民、すなわちキリストと教会の愛の交わりを象徴しているからです。私達はどれ程、罪深い者であっても、主に愛されています。キリストの花嫁として、その愛に応えましょう。



[土]香しい「シャロンのばら」も、美しい「野のゆり」も、咲いていることを知らない人が多いそうです。この世の人々にとって、主イエスの存在がそうでした。全ての人は、主に愛されているのですから、「さあ、立って出ておいで」と、教会へ招きましょう。

	聖書	問題	答え
日	コヘレト 8:1-17	何事にも、どんな時がありますか。	
月	9:1-18	足の速い者が競争に、強い者が戦いにどうするとは言えないですか。	
火	10:1-20	遇者は口数がどうですか。	
水	11:1-10	何を水に浮かべて流すがよいですか。	
木	12:1-14	何をすることこそ、人間のすべてですか。	
金	雅歌 1:1-17	ぶどう酒にもまして、あなたの何は快いですか。	
土	2:1-17	「恋人よ、美しい人よ、さあどうしておいで」と招きましたか。	
感想と祈りの課題			